

キソエビネ	<i>Clanthe alpina</i> Hook. f. ex Lindl.	絶滅危惧Ⅰ類
(環境省:絶滅危惧ⅠA類)		ラン科
選定理由	生育地が過度に分断されている。園芸目的の採取圧がある。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	高さは20-30cm。狭長楕円形の葉が2-4枚付く。3-8個の花を穂状に付ける。花は淡紅紫色だが変異がある。唇弁は3裂しないで縁が細かく切れ込む。球形の偽球茎がある。花期は6-7月。	
生態的特徴	山地の樹林下で湿気た所に生える。	
分布状況	本州、四国に分布する。岐阜県では飛騨地方に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取に寄る。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないようにするのが望ましい。	
特記事項		
参考文献		
		※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。

文責: 山崎玲子